

ファンケルグループが 「女性の健康経営®アワード」を2年連続受賞

～ 更年期理解を広げる「ファンケル メノポーズアクション」や行政連携などが評価 ～

ファンケルグループは、【公益社団法人 女性の健康とメノポーズ協会】が主催する「女性の健康経営®アワード」を2年連続で受賞したことをお知らせします。

本アワードは、女性の健康支援・女性の健康教育・女性の健康経営に結び付く活動を積極的に取り組んだ個人と法人・団体を表彰する制度です。

当社グループは、従業員の健康支援やダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進に加え、更年期への社会的理解を広げる「ファンケル メノポーズアクション」などの取り組みを継続的に実施してきました。今回の受賞では、社内教育の推進、社会への啓発活動、行政との連携による地域貢献など、前年からの活動の発展が評価されました。



ファンケルグループは『正義感をもって世の中の「不」を解消しよう』という創業理念のもと、無添加化粧品や健康食品を通して、お客様の「不満」や「不安」を解消し、美しさと健やかさに一生涯寄り添って支える企業であることを目指しています。そのため、サステナビリティの重点テーマの一つに「健やかな暮らし」を据えるとともに、「加齢とともに生じる健康課題への対処」「肌不調の増加への対処」「栄養の充足課題への対処」を掲げ、経営基盤においても「健康経営の実現」を目指しています。

創業以来、女性従業員が中心となって活躍する風土が根付く当社グループは、現在もグループ全体の約8割が女性従業員です(2025年12月時点)。「女性の健康」については当事者だけでなく、性別や立場の違いを超え、全員が知識を持つことが重要であると考えており、従業員教育にも力を入れております。

【審査員から評価された主な取り組み】

1. 更年期の社会的課題に向き合う「ファンケル メノポーズアクション」

更年期を「社会が抱える『不』」＝「社会課題」として捉え、活動を開始した「ファンケル メノポーズアクション」は2025年10月に2年目を迎えました。2025年は、前年の「基礎理解」「親子世代」「男性更年期」に加え、「夫婦の関係性」をテーマに活動を深化。夫婦100組の体験をまとめた「メノポーズトーク」を発信するなど、更年期をコミュニケーションの軸で捉える情報発信を強化しました。

こうした活動が、「個人の健康課題」として見られがちな更年期を、「社会課題として深化」させた取り組みとして評価されました。

2. 「女性の健康検定®」資格者が371人に拡大 全社的なヘルスリテラシーを向上

グループ全体で女性の健康理解を深めるため、「女性の健康検定®」の取得を推進しています。2025年には資格保有者が371人(前年比+106人)となりました。

さらに、

- ・職場内での健康に関するコミュニケーションの活性化
- ・女性の健康課題に配慮した職場環境の整備
- ・商品、情報、サービス開発への知見活用

など、組織全体でヘルスリテラシー向上の成果が生まれているとして評価されました。

※「女性の健康検定®」とは、女性の生涯にわたるホルモンサイクルと体調管理をベースに、女性も男性も、健康でよりよい働き方の対策を学ぶ検定です。

3. 神奈川県との連携による地域への啓発活動の継続

当社グループは、神奈川県が推進する「未病改善」の情報を発信する「ME-BYO スタイルアンバサダー」として活動しています。

女性の健康経営推進員、女性の健康推進員、シニアメノポーズカウンセラーなどの有資格者を中心に、更年期をテーマにした学校への出張講座や一般向けのセミナーを定期的にも実施しており、行政との連携による継続的な地域貢献活動も今回の評価ポイントとなりました。



ファンケルグループは今後も、社員の健康リテラシー向上、更年期を含む女性の健康課題への社会啓発、行政や教育機関との連携を通じて、「美しさと健やかさに一生涯寄り添い、支える企業」として社会課題の解決に尽力してまいります。

報道関係者からのお問合せ先
株式会社ファンケル 広報部 / 045-226-1230 official@fancl.co.jp